

平成25年 2月27日

産業振興！ ナノテクによる“ものづくり”シンポジウム

「人材育成と最先端設備共用に関する合同記念シンポジウム」開催について

本学では、文部科学省・地域再生人材創出拠点の形成事業としてこの5年間取り組んできた「21世紀源内ものづくり塾」が終了し、25年度からは香川県の支援によりステップアップします。また、24年度には、**四国で唯一**、文部科学省・設備共用化事業としての「ナノテクノロジープラットフォーム」が採択され、事業がキックオフします。これらを記念して、合同でシンポジウムを開催します。本学が誇る最先端のものづくり技術（ナノテクノロジー）により、人材というソフトと設備というハード両面から地域産業を振興する体制ができました。

当日は、**香川県の浜田知事からご挨拶**をいただく予定です。また、今月、国際総合展 nano tech2013（東京ビッグサイト、4万7千名来場）において受賞した「**nano tech 大賞 2013**」の賞状・盾を展示します。

プログラムの一部内容

第Ⅰ部（14:00～）

講演1 「源内塾のこれまでとこれから」 香川大学 准教授 高尾 英邦

講演2 「これからのナノテクノロジープラットフォーム」 香川大学 准教授 鈴木 孝明

第Ⅱ部（15:40～）

特別講演1 「明日の生活を支えるMEMS開発の最前線」

東京大学 生産技術研究所 教授 藤田 博之 氏

特別講演2 「産学官のオープンイノベーションによるMEMS産業の活性化」

技術研究組合NMEMS技術 研究機構 理事長 今仲 行一氏

交流会(18:00～) 参加費¥2,000(当日集金します)

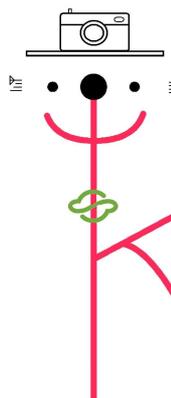
日時 平成25年3月7日(木) 14:00～

会場 サンメッセ香川 2F 大ホール

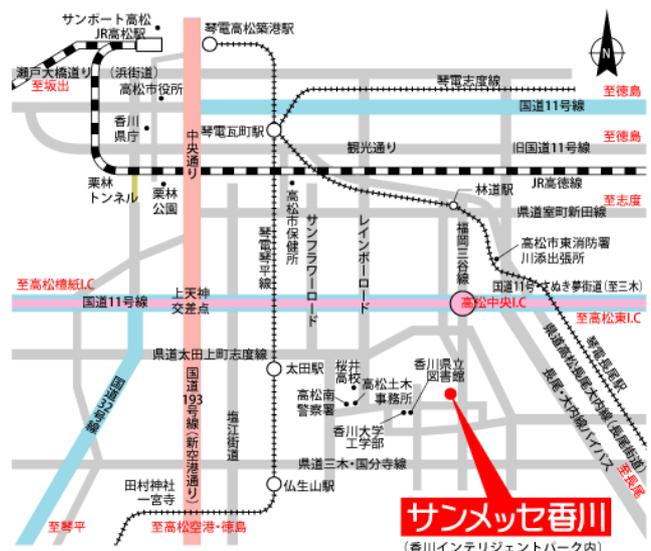
主催 香川大学

共催 香川県 徳島文理大学

香川高等専門学校 香川県立保健医療大学



参加無料・当日参加可能です。



➤ 問い合わせ先

香川大学 ナノテクノロジー支援室 鈴木孝明（実施責任者）

TEL/FAX：087-887-1873

E-mail：suzuki@eng.kagawa-u.ac.jp

人材育成と最先端設備共用に関する合同記念シンポジウム

21世紀源内ものづくり塾

(ステップアップ)

ナノテクノロジープラットフォーム

(キックオフ)

開催日時

25年3月7日(木)
14:00~

会場

サンメッセ香川
(2F大ホール)

【プログラム】

○第Ⅰ部 (14:00~ ※調整中)

1. 主催者挨拶 長尾 省吾 (香川大学長)
2. 共催者挨拶 浜田 恵造氏 (香川県知事※)
3. 来賓挨拶 木村 賢二氏 (科学技術・学術政策局)
(文部科学省) (科学技術・学術戦略官)
馬場 大輔氏 (研究振興局 基盤研究課)
(ナノテクノロジー・材料開発推進室室長補佐)
4. 源内塾のこれまでとこれから 高尾 英邦 (香川大学微細構造デバイス)
(統合研究センター 准教授)
5. これからのナノテクプラットフォーム 鈴木 孝明 (香川大学工学研究院 准教授)

○第Ⅱ部 (15:40~)

[MEMS in 高松Ⅲ]

6. 開会挨拶 石丸 伊知郎 (香川大学微細構造デバイス)
(統合研究センターセンター長)
7. 特別講演1 藤田 博之氏 (東京大学 生産技術研究所 教授)
「明日の生活を支える MEMS 開発の最前線」
8. 特別講演2 今仲 行一氏 (技術研究組合 NMEMS 技術)
(研究機構 理事長)
「産学官のオープンイノベーションによる MEMS 産業の活性化」

交流会

2000 円
(当日集金)

★交流会 18:00~ (同一会場、ノンアルコール)★

主催 香川大学
共催 香川県 徳島文理大学 香川高等専門学校 県立保健医療大学



国立大学法人香川大学

MEMS in 高松(Ⅲ) 講演要旨

記念講演 1 明日の生活を支える MEMS 開発の最前線

藤田 博之氏 (東京大学 生産技術研究所 教授)

MEMS は、主に半導体微細加工技術を利用して作成されるセンサやアクチュエータ等の微小な電子・機械要素と呼ばれ、MEMS デバイスとして電子機器の高性能化に寄与して来た。最近ではスマートフォンやゲーム機のモーションセンサなど身近な日常生活で欠かせなくなっている。

このような中で、今後は、MEMS 技術が飛躍的な発展を遂げ、その応用範囲を急速に広げることで、社会的な課題である「環境・エネルギー」、「医療・福祉」、「安全・安心」と言った分野で、新しいライフスタイルを開くべく革新的デバイスの創出が期待されている。

このためには、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど様々な分野の技術を融合して革新的なプロセス技術を確立することが求められており、国を中心として従来の製造技術の概念・常識を打ち破るべき様々な試みがなされている。

本講演では、その最前線のホットな話題を中心に解説していただく。

記念講演 2 産学官のオープンイノベーションによる MEMS 産業の活性化

今仲 行一氏(技術研究組合 NMEMS 技術研究機構 理事長)

我国の企業は、従来、研究開発から事業まで一連のものづくりを全て自前で行う「垂直統合型」でビジネス展開してきたが、最近の大手家電メーカーに見られるようにその限界が指摘されている。

これまで着実に発展してきた MEMS 関連産業も、市場が急速に拡大する中で、「激化する国際競争」、「短期間に変化する市場ニーズ・需要」、「低価格大量生産」等厳しい状況におかれている。

このようにリスクが増大するの中で、自前主義と決別して、外部からも広く資源を調達する「オープンイノベーションへの転換」が指摘されている。

特に MEMS 分野では、諸外国においてアイデア立案→研究開発→商品化→量産試作→量産を国など専門施設で行う「水平統合型」による成功事例が多数見られ、特にベンチャーや中小企業には優位であると言われている。

我国でも、国による最先端技術の施設整備を含めた実用化への後押しの必要性が叫ばれ、先般「つくばイノベーションアリーナ(TIA)」として整備され、その展開が期待されている。

本講演では、香川のものづくり企業が、このような産学官によるオープンイノベーションにチャレンジしていただくため、その足掛かりを熱く語っていただく。

(FAX:087-864-2529 又は MAIL:sogou@eng.kagawa-u.ac.jp)

参加申込み ①FAX の場合：下記を記入の上、この講演要旨をそのまま FAX して下さい。

方法 ②MAIL の場合：下記の①～④を連絡下さい。 ③締め切り **25年2月22日(金)**

④その他：先着 100 名。(お断りする場合があります。)

① 氏名	
② 会社(機関)	
③ 所属・役職	
④ 交流会	<input type="checkbox"/> 参加する(会費：当日集金) <input type="checkbox"/> 参加しない
⑤ 連絡先	メールアドレス

(注) 個人情報については、本主催事業とこれに関連する事業以外では使用しません。